

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、全国平均とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「読むこと」歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる力の定着が顕著です。
- ・数学の平均正答率は、全国平均よりも低く課題があります。特に「数と式」自然数の意味を理解しているについて課題が顕著です。一方、「データの活用」については、全国平均を上回る平均正答率であり、十分定着しています。
- ・英語の平均正答率は、全国平均よりも低く課題があります。特に「書くこと」「読むこと」について課題が顕著です。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向がみられる項目
「人が困っているときは、進んで助けている」「家で自分で計画を立てて勉強している」「家に本がある」「すんでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよりよくするために何かをしたい」「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ」「学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを活かして解決方法を決めている」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「自分の考えがうまく伝わるように資料や文章、話の組立てなどを工夫する」「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行う」「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答した生徒の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学級活動を含め、全教科で言語活動を充実させるなどの工夫を行い、自分の考えを書いたり発表したりする授業を、多く取り入れていきます。
- ・家庭学習の定着をさらに進めていくために、夕学と振り返りの学習や家庭学習ノートの取り組みを継続して行います。
- ・自分自身の明るい未来のために努力を続けていくことができるように、キャリア教育等、将来の夢や目標をもてるような取り組みを行っていきます。
- ・学級づくりを推進し、話し合い活動（フリートークの実施等）を設定し、自分の考えを深めたり広げたりすることができるような集団づくりと、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組めます。
- ・国語の学習では、表現の技法、事象、行為及び心情を表す語句について理解する活動を取り入れていきます。自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書く力や話す力を伸ばしていきます。
- ・数学の学習では、基礎基本に重点を置き定着を図るとともに、数学的な考え方を生徒に表現させる機会を増やしていきます。また、学習したことを普通の生活に活用できるような視点を取り入れていきます。
- ・英語の学習では、「書くこと」「話すこと」特に発表に関わる力を伸ばす授業の工夫をしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・自ら課題を設定し、学習の定着を図るために、家庭での学習時間を確保してください。
- ・学校での出来事、新聞や読書の内容を親子で話し合う等、更にコミュニケーションを充実させてください。
- ・テレビの視聴時間や携帯・スマートフォン・ゲームなどの使用時間について、家庭でルールや約束を決めてください。
- ・生徒自身の長所や将来の夢や希望等について、親子で話し合う機会をつくりましょう。